

Sustainable Report No.080

電子機器が抱える 環境課題

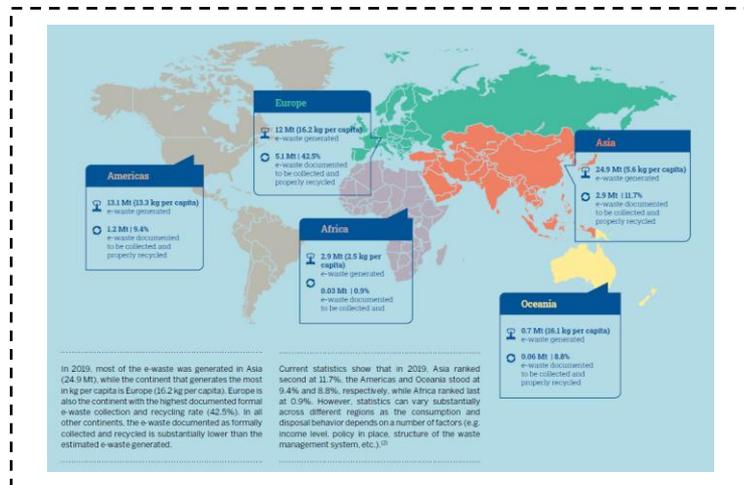


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

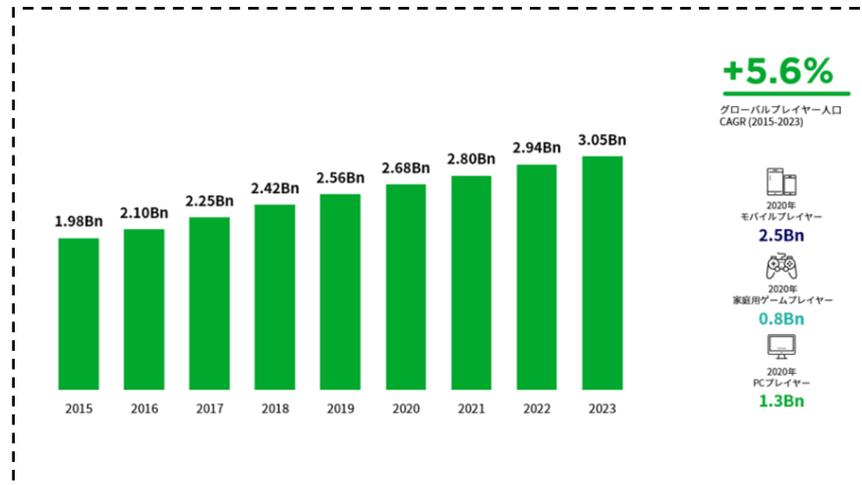
- 多くの有害物質が含まれる**“電子廃棄物”**が**2019年に世界で5,360万トン発生**(一人当たり7.3kg)し、2010年より58%増加した。**2030年には7,400万トンにまで増加すると予想**されている。
- 2000年以降からICTインフラが整備され、デジタル化が進んだことで電子機器の使用が増加。
- 近年の傾向として筆者はeスポーツの普及に注目しており、2020年時点で**競技人口は26億人と見込まれ、2023年には30億人になると予想**されている。
- 廃棄場では大量のプラスチックが燃やされて水銀、鉛、フロンなどの有毒物質が発生し、**大気汚染や水質・土壌汚染などの環境課題や、呼吸器疾患や先天性障害を引き起こす恐れ**がある。

■ 電子廃棄物発生量とリサイクル率(2019年)



出典：Global E-waste Statistics Partnership

■ 2015-2023年 グローバルゲームプレイヤー人口



出典：newzoo

▶NEXT : logicool社の廃棄物削減への取り組み

■ 実行者／解決方法／残る課題

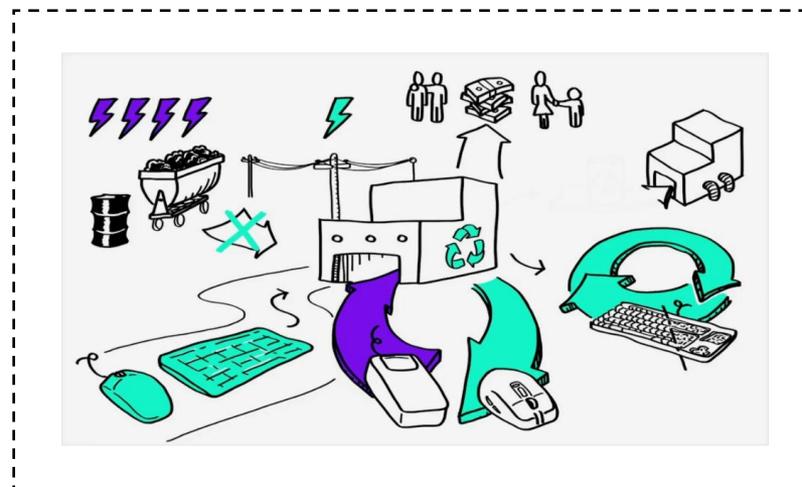
- logicoolは、スイスに本社を置き、全世界に**ゲーミングPCの周辺機器を販売**し、気候ソリューションに焦点をあてた地球に優しい製品を生み出す。
- **カーボンインパクトを全製品にラベリング**し、二酸化炭素排出量の見える化に2021年から取り組む。
- 2022年よりlogicoolの製品を**回収して再利用する下取りプロジェクト**が始まった。
- 下取りプロジェクトによる**使用済み製品の回収は2022年度に49,000台**で、今後の増加が期待される。

■ カーボンインパクトラベル



出典：左右ともにlogicool

■ 電子機器が再利用される仕組みのイメージ



▶NEXT：電子廃棄物をリサイクルするサプライチェーンの構築

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 国内にリサイクルセンターがない海外製品は、**消費者が自ら持ち込み先を調べる必要があり引き渡すハードルが高く、リサイクルが難しい。**
- 製造、使用された製品が、**回収、分解、再利用されるサプライチェーンの構築**が理想である。
- グローバル企業は**支社・営業所の役割を見直して**国内の消費者と本社を仲介し、使用済み製品の提供者に商品購入に使えるポイントを発行するなど、意欲的にリサイクルできる仕組みづくりが望まれる。

■ リサイクルセンターが日本国内に無い例

最寄りのリサイクルセンターを見つける

これらのリンクを使って、最寄りの搬入ポイントまたはリサイクルセンターを見つけてください。リサイクルの詳細情報については、地域のリサイクル機関にお問い合わせください。

北米 南アメリカ ヨーロッパ アフリカ **アジア** オセアニア

中国 電子機器	インド 電子機器	イスラエル 電池 電子機器
マレーシア 電子機器	スリランカ 電子機器	ベトナム 電子機器

出典：logicool

■ 大量に廃棄された電子廃棄物



出典：withnews

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- newzoo, 「世界のゲームプレイヤー人口は2023年までに30億人へ: 成長し続けるグローバルゲーム市場 エンゲージメント&収益」, 2020年11月19日
(<https://newzoo.com/insights/articles/games-market-engagement-revenues-trends-2020-2023-gaming-report-japanese-version>)
- 国民生活センター, 「増え続ける電子ゴミ」, 2021年8月 (https://www.kokusen.go.jp/wko/pdf/wko-202108_07.pdf)
- Global E-waste Statistics Partnership 「The Global E-waste MONITOR 2020」, (https://collections.unu.edu/eserv/UNU:7737/GEM_2020_def_july1.pdf)
- オリックス株式会社, 「電子廃棄物という社会問題。東南アジアにおける現状と課題を徹底解説」, 2022年5月11日
(https://www.orix.co.jp/grp/move_on/entry/2022/05/11/100000#:~:text=%E9%9B%BB%E5%AD%90%E5%BB%83%E6%A3%84%E7%89%A9%E3%81%AE%E4%B8%8D,%E3%80%81%E9%89%9B%E3%80%81%E3%83%95%E3%83%AD%E3%83%B3%E3%81%AA%E3%81%A9%EF%BC%89%E3%80%82)
- GLOBAL NEWS VIEW, 「電子廃棄物の問題」, 2021年5月13日
(<https://globalnewsview.org/archives/14743#:~:text=%E5%9B%BD%E9%80%A3%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E3%81%AB%E3%82%88%E3%82%8B%E3%81%A8%E3%80%81%E4%B8%96%E7%95%8C,%E3%81%AA%E3%82%8B%E3%81%A8%E3%81%84%E3%81%86%E3%81%93%E3%81%A8%E3%81%AB%E3%81%AA%E3%82%8B%E3%80%82>)
- logicool, 「e廃棄物と電池のグローバルリサイクル」 (<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/sustainability/recycling.html>)
- logicool, 「前向きな未来を設計する」, 2022年 (<https://www.logicool.co.jp/ja-jp/sustainability.html>)
- logicool, 「DESIGNING A POSITIVE FUTURE」 (<https://www.logicool.co.jp/content/dam/logitech/en/sustainability/pdf/resources/fy22-impact-report-portrait.pdf#page=59>)
- withnews, 「そこは「スマホの墓場」だったアフリカでみた想像を超える後継」, 2020年3月15日
(<https://withnews.jp/article/f0200315000qq0000000000000000W0e610701qq000020608A>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。